

# 令和7年度 後期学校評価アンケート結果分析

京都市立開晴小中学校

後期学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの集計結果につきまして、項目ごとに以下にまとめております。「実現度」の低い項目については、今後の課題と受け止め、優先的に取り組みを進めてまいります。

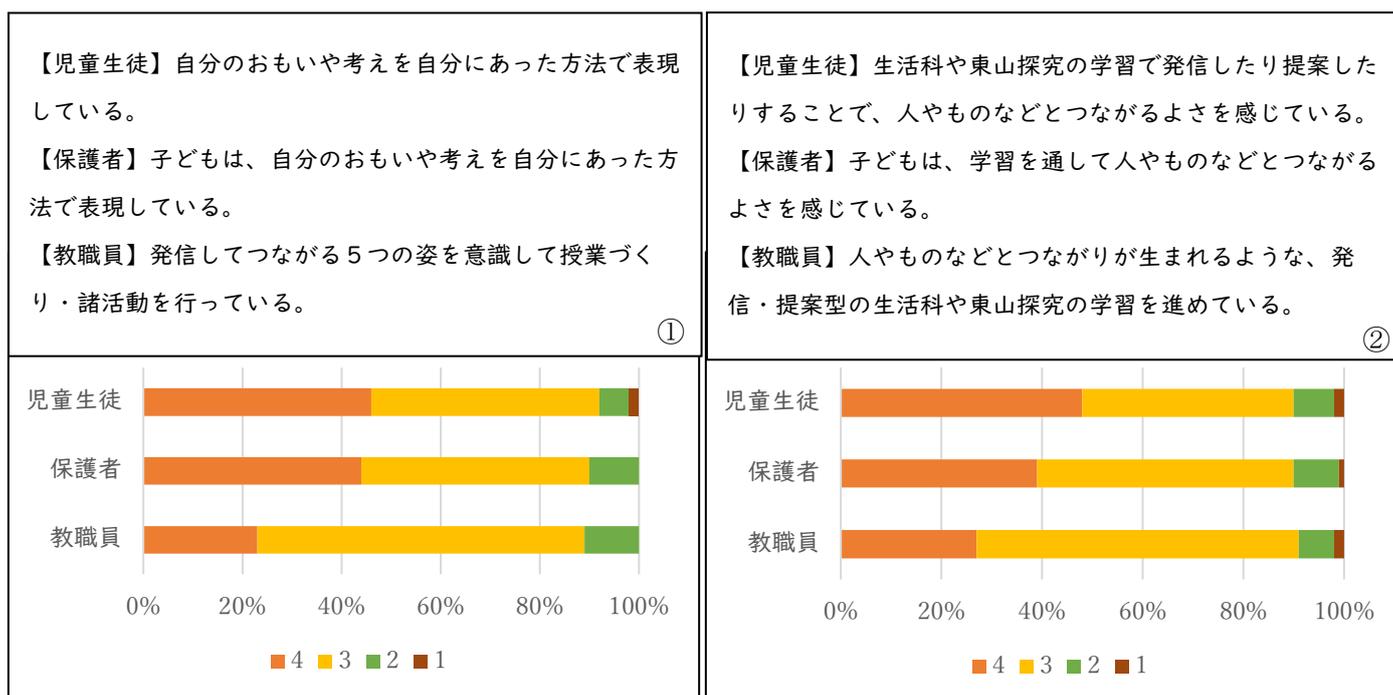
また、自由記述欄につきましても、様々なご意見を頂戴いたしました。すべて保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めさせていただきます。ただ、頂戴したご意見は多様で、そのまますべてを実現することは出来かねますこと、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。アンケートには書ききれなかったご意見等がございましたら、電話や学校メールにてお聞かせくださいますようお願いいたします。

なお、この結果につきましては学校運営協議会理事会の皆様にも供覧し、ご意見をいただいた上で、本年度後期の結果として報告いたします。

## 令和7年度後期 児童生徒、保護者、教職員アンケートの結果

### グラフの見方

横軸の帯の色は左から4「そう思う、できている（オレンジ）」、3「ややそう思う、ややできている（黄）」、2「ややそう思わない、ややできていない（黄緑）」、1「思わない、できていない（茶）」を表している。また読書量の児童生徒及び保護者の項目では、4「1日に1時間以上（オレンジ）」、3「1日に30分くらい（オレンジ）」、2「1日に10分くらい（黄緑）」、1「読んでいない（茶）」を表している。

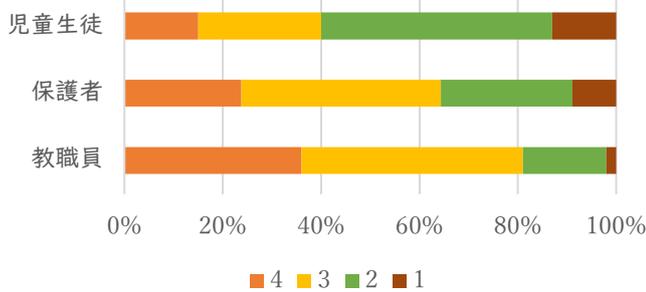


【児童生徒】1日にどのくらい読書をしていますか。(朝読書を含む)

【保護者】子どもは、1日にどれくらい本を読んでいますか。(朝読書を含む)

【教職員】進んで読書をするような働きかけをしている。

③

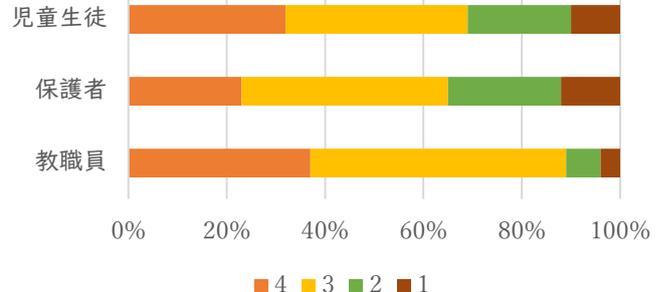


【児童生徒】おたより帳やスケジュール帳を使って自分で計画を立て、進んで学習している。

【保護者】子どもはおたより帳やスケジュール帳を使って、計画的・主体的に学習している。

【教職員】おたより帳やスケジュール帳を使って計画的・主体的に学習できるように指導している。

④

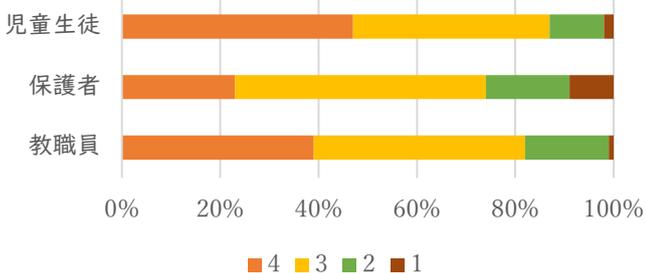


【児童生徒】GIGA 端末を活用し自分のおもいや考えをまとめたり、表現したりしている。

【保護者】GIGA 端末を活用し自分のおもいや考えをまとめたり、表現したりしている。

【教職員】GIGA 端末を活用し自分のおもいや考えをまとめたり、表現したりできるように指導している。

⑤

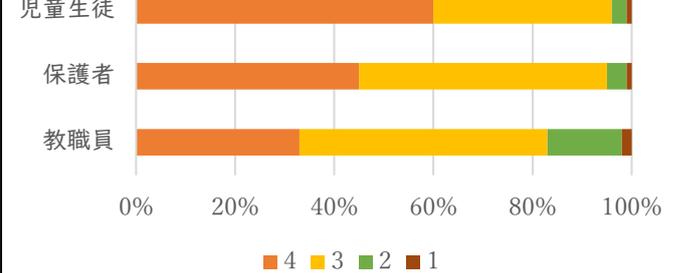


【児童生徒】自分も他の人も大切にしながら、よりよく生活していこうとしている。

【保護者】子どもは、自分も他の人も大切にしながら、よりよく生活していこうとしている。

【教職員】9年間の成長を見通し、人権学習・道徳教育・キャリア教育を行っている。

⑥

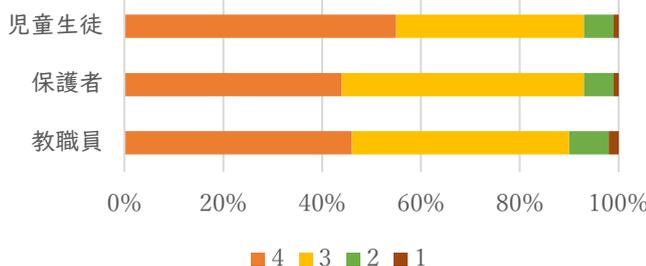


【児童生徒】学級活動や行事などで、自分からやろうとしたり、友達と協力したりしている。

【保護者】子どもは、学級活動や行事などで、自分からやろうとしたり、友達と協力したりしている。

【教職員】主体性と協働性が育まれる学級活動や行事、体験活動の充実を図っている。

⑦

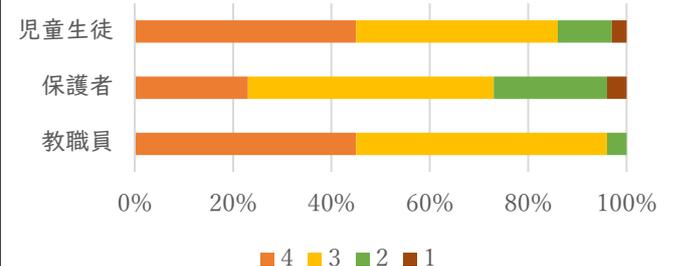


【児童生徒】苦手なことや難しいことにも挑戦し、あきらめずに取り組んでいる。

【保護者】子どもは苦手なことや難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組もうとしている。

【教職員】苦手なことや難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組む態度を養っている。

⑧

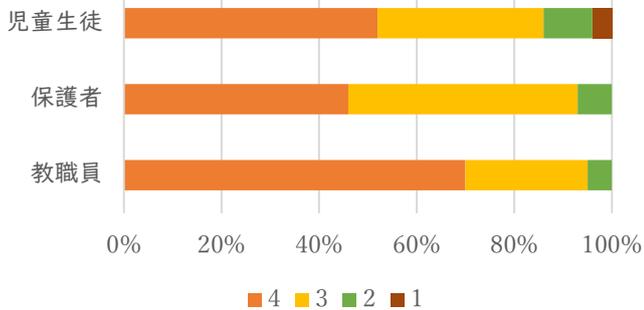


【児童生徒】人のいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。

【保護者】人のいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。

【教職員】よりよい人間関係を築こうとする心情を育てている。

⑨

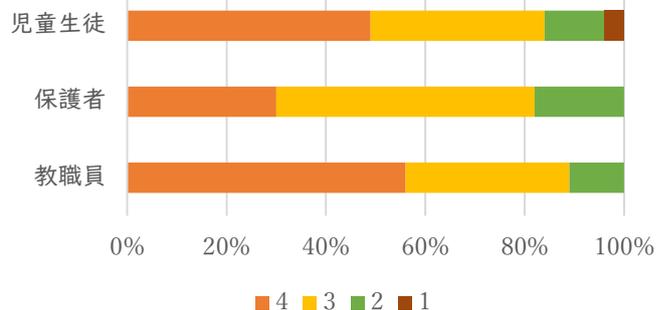


【児童生徒】自分から進んであいさつをしている。

【保護者】子どもは、しっかりとしたあいさつをしている。

【教職員】気持ちよく挨拶をしようとする態度を養っている。

⑩

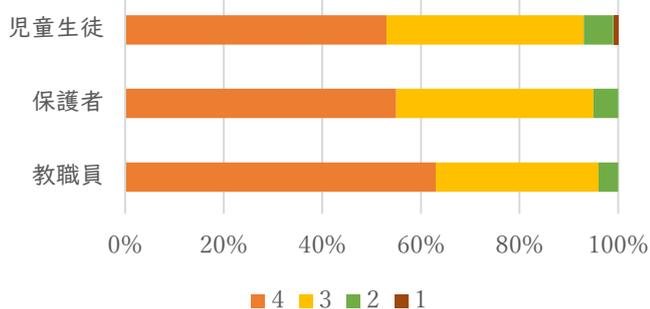


【児童生徒】学校や社会のルール・マナーを守っている。

【保護者】子どもは、学校や社会のルール・マナーを守っている。

【教職員】学校や社会のルール・マナーを守るなどの規範意識を養っている。

⑪

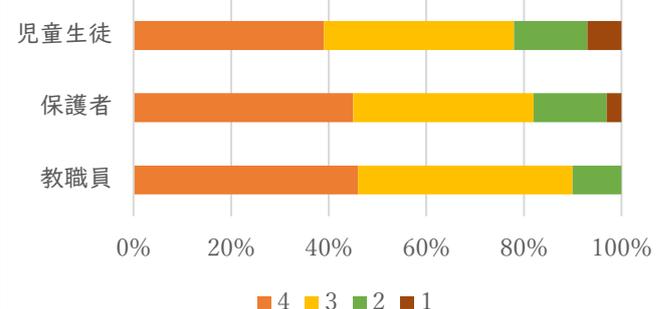


【児童生徒】早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しく生活している。

【保護者】子どもには、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん等）が身に付いている。

【教職員】基本的な生活習慣が定着するように子どもや家庭に働きかけている。

⑫

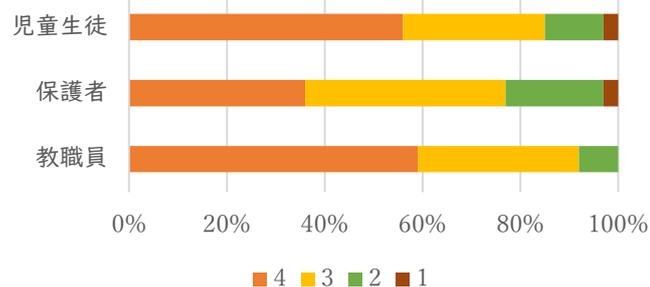


【児童生徒】できるだけ好き嫌いせず、感謝して給食を食べている。

【保護者】子どもは、好き嫌いせずに感謝して食事している。

【教職員】好き嫌いせず、感謝して給食を食べようとする態度を育てている。

⑬

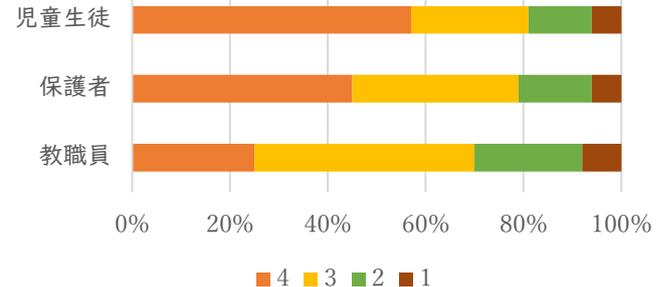


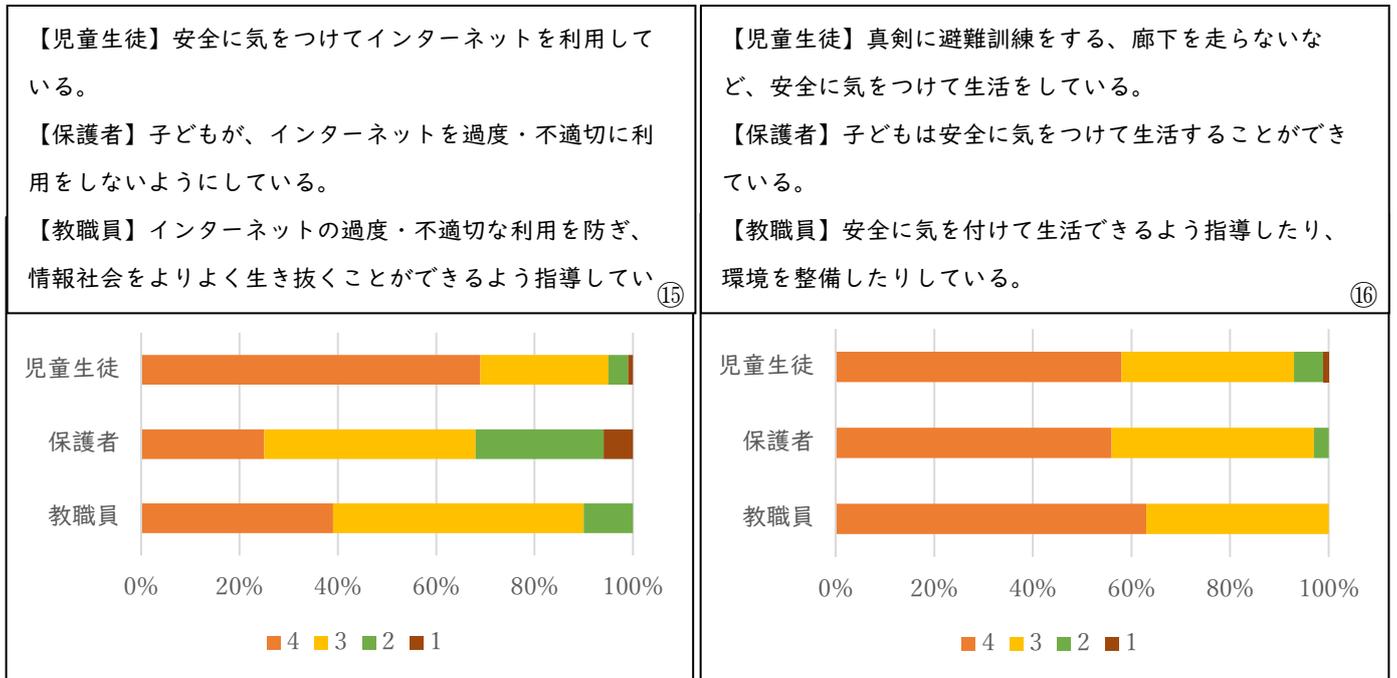
【児童生徒】外遊び・スポーツなどで、体をよく動かしている。

【保護者】子どもは外遊び・スポーツなどで、体を動かしている。

【教職員】外遊び・スポーツなどで体を動かすように働きかけている。

⑭





## 令和7年度後期学校評価アンケートの結果より

### 知 確かな学力に関わって

今年度図書委員会では、本の福袋、放課後シアターなど、これまでにない新たな取組を行い、多くの児童生徒がメディアセンターに親しみを持って訪れる姿がみられました。1日30分以上の読書実現度について、保護者の項目が後期になり32ポイント増加しました。子どもたちが読書に親しむことができていることが保護者のみなさまに伝わっており大変嬉しく思っています。今後も学年・学級文庫の充実、学校司書によるブックトークや読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ、読書ノートの利用、図書だよりの発行、新着図書の案内（様々な学習や季節に関わる本だけでなく本屋大賞など話題の本も充実しています!）、ブックリストの活用など、児童生徒がいつでも読書に親しめるような取り組みを進めてまいります。

### 徳 志に関わって

「学校や社会のルール・マナーを守っている」の項目では、前期・後期ともに児童生徒の実現度が95パーセントを超え、非常に高い結果となっています。本校は東山警察署に大変近く、日ごろから警察と連携しながら、非行防止教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室等を行っています。こうした学習を9年間系統立てて学ぶ機会があり、またその他のタイミングでも必要に応じてゲストティーチャーとして警察の方にお越しいただき学習を進めていけることは大変有難いことです。それでも残念ながら、ルール・マナー違反や児童生徒間トラブルがないわけではありません。施設一体型義務教育学校の本校は前期課程と後期課程教員がしっかりと協力し合うことができ、さらに様々な職種に携わる全教職員みんなで子どもたちに声かけ積極的に子どもたちと関わっているところは本校の大きな強みと言えます。子どもたちと信頼関係を築きながら温かく傾聴し、問題行動に至った経緯や背景を理解することを大切にしつつ、ルール・マナー違反については社会に通用する規範意識が育つよう毅然と粘り強く指導するようになっています。

## 体 健やかな体に関わって

「基本的な生活習慣が定着するように子どもや家庭に働きかけている」の項目では、前期・後期ともに教職員の実現度が90パーセントを超える結果となっています。本校では、今年度から来年度にかけて「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」に取り組みます。生涯にわたる健康維持のためには、望ましい生活習慣の形成が必要不可欠です。中でも歯・口の健康は生活習慣に大きく影響されます。そこで学校では、①むし歯や歯周病の予防方法、②学校生活における歯・口の外傷の防止と安全な環境づくり、③食べる機能や食べ方を通じた食育を重点項目として取り組んでいます。具体的には、1年生は正しい噛み方について、7年生はデンタルフロスの使い方を学ぶなど発達段階に合わせた学習をしてきました。また、4年生は12月に一般社団法人日本歯科医療管理学会理事長の尾崎 哲則 先生をゲストティチャーとしてお招きし、噛むことの大切さを体験しながら歯と口の健康づくりを学べる出張講座をしていただきました。引き続き来年度も歯・口の健康づくりについて取り組みを進めてまいります。

保護者自由記述欄にお寄せいただきましたご意見より（表現の一部を修正・省略しています。ご容赦ください。）

1学期に比べて、学校の楽しかった事、悔しかった事などを話してくれるようになりました。

少しずつ、モヤモヤした考えを上手に自分で変えていけるようになってきたと思います。また1人で抱えて溜め込まないように気をつけて様子を見ています。

タブレットを使用した宿題があることによってタブレットを毎日持ち帰るため、荷物の重量が増している。身体への負担が気になる。

社会科寄りの探求学習だけでなく理科寄りの探求学習の導入も、ご検討いただければなと思っています。

学校をお休みした日には担任の先生が気にかけて電話をしてくださり、個人面談で話を聞いたさいにも、子どものことをよく見て対応して頂いているのがよく分かりました。子どもも学校に行くのが楽しくなってきたと、話しているのでも、安心して学校生活が送れているのだと思います。

学校運営協議会理事の皆様のご意見より（表現の一部を修正・省略しています。ご容赦ください。）

様々なリーダー像があるが、一人一人の力を引き出すためには「傾聴力」が必要。この「傾聴力」を小さい時から身につけられるようにしていくことが大事なのではないか。

学校は子ども達に「つながり」の大切さを伝えようとしている。子どもと同じように学校、保護者、地域をつなぐ取組を通して、より豊かなつながりを広げていきたい。

GIGA 端末など様々な道具はどんなに良いものでも扱い方が大切。

自分が受けてきた教育等、自分の経験から判断してしまうが、大人もアップデートが必要だと感じる。

豊かな心を育てていくためには、人との触れ合いが何より必要。AI だけでは学べないこともあるのではないか。